

2022年度第1回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 門松ステークス

門松（かどまつ）は、正月に家の門口に飾る松の飾り。本来は年神（としがみ）の来臨する時の依り代の意味を持つ。一般的には竹・松などを用いるが、地方によってはナラ・サカキ・シキミなどの常緑樹を用いる。

○ 万葉ステークス

万葉（まんよう）は、現存する最古の和歌集である『万葉集』の略称。大伴家持が編纂に携わったとされ、仁徳天皇期から淳仁天皇期までの短歌・長歌・旋頭歌など約4,500首が収録されている。

○ スポーツニッポン賞京都金杯（GⅢ）

本競走は、昭和38年に創設された『迎春賞』を前身とする重賞競走。41年に『スポーツニッポン賞金杯』と改称するとともに、別定重量戦となった。その後、56年にハンデキャップ戦となり、平成8年から東西で行われる金杯を区別するため、現在の競走名に改称された。また、12年には距離が2000mから1600mに短縮された。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

スポーツニッポン新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 鳥羽特別

鳥羽（とば）は、三重県東部、志摩半島北東部にある市。伊勢湾口に臨む鳥羽港を中心に市街地が発達している。古くは九鬼水軍の本拠地で、その後は江戸ー大阪間の帆船寄港地として栄えた。現在は真珠やカキの養殖業が盛ん。

○ 寿ステークス

寿（ことぶき）は、祝うべき事柄。また、祝いの言葉や儀式のこと。

○ すばるステークス（L）

すばるは、牡牛座にある散開星団、プレアデス星団の和名。数多くの星によって構成されているが、肉眼で確認できる星は6個程度であることから、「六連星（むつらぼし）」とも呼ばれる。

<第3日>

○ 濃尾特別

濃尾（のうび）は、岐阜県と愛知県にまたがる沖積平野。古くから水運に恵まれており、京都から東へ物資を運ぶ際の中継地として栄えた。現在は、中京工業地帯の中心として名古屋市を中核に商工業が発達している。

○ 新春ステークス

新春（しんしゅん）は、新年、正月の別称。昭和29年に国営競馬が日本中央競馬会へと移管されて以来、現存する最も古い競走名のひとつ。

○ 日刊スポーツ賞シンザン記念（GⅢ）

本競走は、シンザン号の栄誉を称え昭和42年に創設された重賞競走。同馬は、39年にセントライト号以来23年ぶり、日本競馬史上2頭目の三冠制覇という偉業を達成し、翌年には天皇賞（秋）と有馬記念も制して五冠馬の称号を得た。引退後も種牡馬として活躍し、59年に顕彰馬に選出された。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

日刊スポーツ新聞社は、北海道・東京・愛知・大阪・福岡に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 長良川特別

長良川（ながらがわ）は、大日ヶ岳に源を発し、岐阜県中央部を流れる延長166kmの川。岐阜県北部の山岳地帯を南流し、濃尾平野を経て、三重県で伊勢湾に注ぐ。揖斐川、木曽川とともに木曽三川のひとつである。夏季を中心に行われる鵜飼が有名。

○ 雅ステークス

雅（みやび）は、宮廷風であること、上品で優美なこと。江戸時代の国学者本居宣長は、平安時代の和歌、物語を含む古代文化の中心にあるものを「みやび」と呼んだ。

○ 淀短距離ステークス（L）

淀（よど）は、京都市伏見区の地名。名は、川の水が淀むことに由来する。宇治川・桂川・木津川の合流点付近を占め、旧河床や自然堤防を利用した野菜栽培が盛んであったが、近年は急速な宅地化が進んでいる。また、京阪電鉄京阪本線の駅名にもなっており、京都競馬場の最寄り駅としても知られている。

<第5日>

○ 渥美特別

渥美（あつみ）は、愛知県南部の半島。温暖な気候に恵まれ、マスクメロンの産地として有名。半島の南西端に位置する伊良湖岬には、菜の花や海水浴で毎年多くの観光客が訪れる。

○ 紅梅ステークス（L）

紅梅（こうばい）は、紅色の花が咲く梅。『源氏物語』第四十三帖の巻名でもある。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。300種類以上の品種があり、大別して野梅系・緋梅系・豊後系がある。花言葉は「忠実」「優美」。

○ 農林水産省賞典愛知杯（GⅢ）

本競走は、昭和38年に創設された重賞競走。当初は、外国産馬以外のすべての馬に出走資格が与えられていた。47年には、内国産種牡馬の奨励と保護の一環として父内国産馬限定競走、平成16年からは牝馬限定競走に改められた。

<第6日>

○ 梅花賞

梅花（ばいか）は、梅の花のこと。梅はバラ科の落葉小高木。2～3月頃に開花し、強い香りを放つ。北野天満宮の境内神域には約50種、1,500本の梅の木があり、この時期の梅苑では白梅、紅梅、一重、八重と色とりどりに咲く梅を目にすることができる。花言葉は「高潔」「忠実」。

○ 遠江ステークス

遠江（とおとうみ）は、旧国名のひとつ。現在の静岡県西部にあたる。その昔、都に近い琵琶湖（近淡海）に対し、浜名湖を遠淡海（とおつとうみ）と表記したことがその名の由来とされる。

○ 日経新春杯（GⅡ）

本競走は、昭和29年に『日本経済新春杯』として創設された重賞競走。54年に現在の競走名に改称された。56年から平成5年までは別定重量戦で実施されていたが、6年にハンデキャップ戦に変更され、現在に至る。令和3年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において2200mで実施される。

日本経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 遠州灘ステークス

遠州灘（えんしゅうなだ）は、静岡県御前崎から愛知県伊良湖岬までの沖合一帯の海域。広義には、静岡県石廊崎から三重県大王崎を指す。波が荒く、港が少なかったため航海の難所であった。

○ 若駒ステークス（L）

若駒（わかごま）は、若い馬のこと。本競走は、春のクラシック戦線を占う一戦として知られている。

○ 長篠ステークス

長篠（ながしの）は、愛知県新城市の地名。天正3年（1575）に織田信長と徳川家康の連合軍が、武田勝頼と戦った「長篠の戦い」の古戦場として知られている。

<第8日>

○ 西尾特別

西尾（にしお）は、愛知県、矢作川流域の南端に位置する市。抹茶の生産地として有名。市内吉良町付近は、元禄赤穂事件を題材にとった作品『忠臣蔵』の中で、敵役として描かれた吉良義央の領地であったことでも知られている。

○ 賢島特別

賢島（かしこじま）は、三重県志摩市の英虞湾（あごわん）内にある島。伊勢志摩国立公園の中心地で、多くの観光客で賑わっている。また、平成28年に開催された伊勢志摩サミットのメイン会場としても知られている。

○ 東海テレビ杯東海ステークス（GⅡ）

本競走は、昭和59年に創設された『ウインターステークス』を前身とする重賞競走。当初は12月にダート2200mで実施されるGⅢ競走であった。平成2年からは2300mに延伸、9年にGⅡへ格上げ、12年には実施時期が5月へ移された。その後、25年より実施時期を1月に移すとともに、1800mで実施されるようになった。なお、第1着馬には同年のフェブラリーステークスへの優先出走権が与えられる。

東海テレビは、愛知県名古屋市に本社を置く放送局。昭和33年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第9日>

○ 白梅賞

白梅（しらうめ）は、白色の花をつける梅。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。花は早春、葉に先立って開く。果実は球形の核果で酸味が強く、梅干しや梅酒に加工される。花言葉は「気品」「忍耐」。

○ 茶臼山高原特別

茶臼山高原（ちゃうすやまこうげん）は、愛知県北東部の高原地帯。標高 1,415m の茶臼山を中心に広がり、一帯は天竜奥三河国定公園に指定されている。山頂付近は芝桜が群生しており、「芝桜の丘」と呼ばれている。

○ 伊賀ステーキス

伊賀（いが）は、旧国名のひとつで、三重県西部の市。伊賀上野城の城下町として栄え、碁盤目状に整備された町並みは小京都に数えられている。また、江戸時代前期に活躍し、『おくのほそ道』などで知られる松尾芭蕉の出生地としても知られている。

<第10日>

○ 刈谷特別

刈谷（かりや）は、愛知県中部の市。地名は、元慶元年（877）に出雲から一族を連れ移住した狩谷出雲守の名に由来する。また、伊勢湾岸自動車道直結の複合施設、刈谷ハイウェイオアシスが有名で、高速道路の利用客に加え、多くの観光客で賑わっている。

○ 美濃ステーキス

美濃（みの）は、岐阜県中南部の市。長良川と支流の板取川の流域にあり、長良川の谷口集落から発達した。古くから強く優れた和紙である美濃紙の産地として栄えている。

○ シルクロードステーキス（GⅢ）

本競走は、平成 8 年に創設された重賞競走。12 年に高松宮記念が 3 月に移設されたことに伴い、本競走の実施時期も従来の 4 月から現在の時期に変更となった。また、14 年より負担重量が別定からハンデキャップへ変更となっている。令和 3 年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において実施される。

シルクロード（Silk Road）は、中央アジアを横断する古代の東西交通路の名称。名は、絹が中国からこの道を通って西方に運ばれたことに由来する。奈良の正倉院には、シルクロードを通じて伝わったとされる中国製やペルシア製の宝物が数多く現存している。

<第11日>

○ 天竜川特別

天竜川（てんりゅうがわ）は、中部地方を流れる延長 213km の川。長野県の諏訪湖に源を発し、伊那盆地・遠州平野を経て、静岡県で遠州灘に注ぐ。流域には佐久間ダムをはじめ多くのダムがある。

○ エルフィンステークス（L）

エルフィン（Elfin）は、「小さい妖精のような」を意味する英語。チュートン民話において、魔力をもった妖精は、森や野に住み、いたずら好きとされている。

○ アルデバランステークス

アルデバラン（Aldebaran）は、おうし座の一等星。アラビア語で「後に続くもの」を意味する「アル・ダバラン」に由来する。カペラ・ポルックス・プロキオン・シリウス・リゲルと共に「冬のダイヤモンド」を構成している。

<第12日>

○ トリトンステークス

トリトン（Triton）は、ギリシャ神話の海の神ポセイドンの息子の名。名古屋港に架かる名港西大橋・名港中央大橋・名港東大橋の3つの橋は「名港トリトン」と呼ばれ、ドライブコースとして人気がある。

○ 瀬戸ステークス

瀬戸（せと）は、愛知県北部の市。良質の陶土を産し、日本有数の陶磁器の産地として有名。陶磁器の代名詞である「せともの」という言葉は「瀬戸（でつくられた）もの」に由来する。

○ きさらぎ賞（GⅢ）（NHK賞）

本競走は、昭和 36 年に創設された 3 歳馬の重賞競走。当初は中京競馬場で実施されていたが、62 年から京都競馬場に舞台を移し、距離も創設時の 1800m から 2000m へ延伸された。その後、同競馬場 1800m コースの新設により平成 3 年から再び 1800m に短縮され、現在に至る。令和 3 年に引き続き、京都競馬場整備工事に伴い、中京競馬場において 2000m で実施される。

きさらぎ（如月）は、陰暦で 2 月の異称。

NHK は、日本放送協会の略称。本競走は、同協会より寄贈賞を受けて実施されている。